

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用実施状況及び効果

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
						961,614	772,908	106,896	6,590	64,600	-	10,620		
1	公共的空間安全・安心確保事業	財政課	市役所庁舎窓口及び公共施設の窓口にて、新型コロナウイルス感染症対策のための備品(カウンタースクリーン用フレーム)を購入し、感染拡大を抑える。	R2.4	R2.4	429	429	-	-	-	-	-	①カウンタースクリーン用フレーム 単価11,000円×39基=429,000円 ②市庁舎及び公共施設の窓口に設置	市庁舎来庁者の新型コロナウイルス感染症の飛沫対策防止に寄与した。
2	雇用確保補助金事業	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業者の雇用確保に資する目的の補助を行う。	R2.4	R2.6	6,180	6,180	-	-	-	-	-	①補助金額=従業員数×30,000円×2か月 補助対象事業者数 22 ②売上が減少している市内飲食業者及び宿泊業者	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内の宿泊・飲食業者に補助金を支出し、雇用の継続と安定化に寄与した。
3	融資資金利子補給事業	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の拡大により、市内事業所の売上げが急激に下落し、経営の不安定化を防ぐため、金融機関等への資金借入に対して利子補給を行い、経営の安定化を図る。	R2.4	R7.3	99,607	99,607	-	-	-	-	-	①対象数：市内114事業所 R2利子補給額：21,922,576円 基金繰入金：77,684,000円 ②「金融円滑化特別資金(新型コロナウイルス感染症対策分)」を利用した市内事業者	市内事業所の緊急的な資金借入に対して、利子補給を行うことで、資金繰り支援及び経営の安定化に寄与した。
4	雇用調整支援補助金	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用調整助成金に係る事業主負担分の補助	R2.5	R3.3	-	-	-	-	-	-	-	利用実績なし	利用実績なし
5	新型コロナウイルス感染症対策中小企業支援金	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業所の休業等により収益の減少した事業者への定額給付を行うことで、事業の継続を図る。	R2.5	R3.3	39,200	39,200	-	-	-	-	-	①補助金額 100,000円 対象事業所数 392事業所 100,000円×392=39,200,000円 ②休業等により売上の減少した市内事業者	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、休業等を実施した市内事業所を対象に、支援金を支出することで、事業の継続が図られた。
6	みなまた観光応援券発行事業	経済観光課	新型コロナウイルス感染症により甚大な影響が生じた市内の観光産業を支援するため、市内宿泊施設に宿泊した方に対し、宿泊施設や飲食・小売店等で利用できる「みなまた観光応援券」3,000円分を交付する。	R2.6	R3.3	38,519	38,519	-	-	-	-	-	① ・割引助成額 32,169,000円 ・事務費一式 6,350,306円 【内訳】 一般事務経費(消耗品費等)150,696円 印刷製本費(クーポン券、チラシ、ポスター印刷等)1,185,085円 手数料(振込手数料) 107,415円 広告費(旅行雑誌等への広告掲載等)3,149,250円 委託料(専用HP制作委託料) 805,750円 ・会計年度任用職員分人件費(8月～3月)952,110円 ②市内の宿泊・飲食・小売業	市内宿泊施設への誘客を図ることで、宿泊者数の落ち込みを抑えることができた。また、「みなまた観光応援券」を利用することで、市内飲食・小売店等においても一定の経済効果があった。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
7	感染症対策用品 購入	いきいき健康 課 (R3繰越分) 図書館 公民館	市公共施設への来館者が新型コロナウイルス感染症を 防止するため、感染症対策の機器や消耗品を購入を行 う。	R2. 4	R3.7	7,095	7,095	-	-	-	-	-	(いきいき健康課) ① ・消耗品費 5,020,751円 ・備品購入費 1,633,107円 ・施設使用料 84,000円 計 6,737,858円 ②市公共施設 (R3繰越分) (図書館) ①サーマルタブレット 1台 165,000円×1.1=181,500円 ②図書館利用者及び職員 (公民館) ①サーマルタブレット 1台 160,000円×1.1=176,000円 ②公民館利用者及び職員	入館前に非接触で検温し、利用者・職員の 健康状態を把握することで新型コロナウイ ルス感染症拡大防止に努めることができ た。
8	欠番					-								
9	災害時備蓄用品 等整備事業	危機管理防災 課	市内避難所における、避難者等の新型コロナウイルス感 染症対策を図る。	R2. 6	R4.3	17,041	17,041	-	-	-	-	-	① (需用費)891,330円 【内訳】 ・段ボールベッド112個:613,250円 ・空気清浄機用抗体フィルター160枚 :278,080円 (備品購入費)16,148,946円 【内訳】 ・避難所用防災マット492枚 収納袋18枚:4,866,180円 ・非接触式体温計44個:338,800円 ・フンタッチパーテーション42台 :1,067,220円 ・二人用テント94台:764,544円 ・屋外用防災倉庫5個:1,859,000円 ・屋内用防災倉庫14個:913,000円 ・空気清浄機35台:1,655,500円 ・大容量蓄電池7個:2,771,230円 ・アコーディオンスクリーン20個 :721,600円 ・簡易トイレ・トイレ用テント各12台 :501,072円 ・スチールフレームベッド100台 :690,800円 ②公民館・学校等の施設管理者	市内避難所において、基本的なおけるコロ ナウイルス感染症予防のための各種備蓄 用品を整備することで、避難者に対する体 温チェックやスペースの確保等、基本的な 感染対策を行うことができた。
10	病院事業会計繰 出	いきいき健康 課 医療センター	新型コロナウイルス感染症患者の入院治療等への医療 提供体制の整備等のため	R2. 4	R3.3	42,131	42,131	-	-	-	-	-	① ・感染対策用医療機器等整備事業 (生体情報モニタ・ビデオ喉頭鏡 電動ベッド・超音波診断装置・ サーモカメラ) 2,711,005円 ・感染対策用医療消耗品整備事業 (パルスオキシメーター6台、空気清浄機 (非陰圧)2台、ポケットSpO2モニタ) 439,780円 ・感染対策用品整備事業 4,559,575円 (消耗備品費・材料費、診療材料、 体温計10台) (コロナ関係検査試薬・消毒液購入) ・病院出入口検温業務(R2.12~R3.3) 6,981,990円 ・新型コロナウイルス感染症受入病床用ベッド 更新事業 電動ベッド14台 3,018,290円 ・新型コロナウイルス感染症患者対応設備整備 事業 (超音波診断装置3台、胸腔ビデオスコープ、 セントラルモニタ(救急外来用)、血液浄化装置) 24,420,000円 ②水俣市立総合医療センター	コロナ感染症患者受入れのために必要な 資器材について整備し、診療や感染症拡大 予防に活用した。 R2年度コロナ患者入院延数 140人 来院者の体温を測定し、発熱者のスクリー ニングを行うことで、感染リスクの低減を 図った。 R2.12~R3外来患者数 54,098人 R2.12~R3発熱外来受診者数 490人

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
11	避難所の安全・安心確保事業	スポーツ交流課	基幹避難所である総合体育館の空調整備を行って快適な空間を創造し、新型コロナウイルス、インフルエンザ及びノロウイルス等の感染対策や熱中症対策に備える。	R3.1	R3.8	32,450	32,450	-	-	-	-	-	①空調更新工事 32,450,000円 ②総合体育館空調設備の更新	基幹避難所である総合体育館の空調設備の更新工事を行うことで、新型コロナウイルスのみならずインフルエンザやノロウイルスといった感染症対策及び熱中症対策に備えることができ、避難者の快適な空間を創造することができた。
12	GIGAスクール構想(児童生徒1人1台端末)の推進	教育課(旧教育総務課)	児童生徒1人1台端末の整備を推進し、コロナ禍における教育環境の維持・向上を図る。	R2.9	R3.11	51,265	51,265	-	-	-	-	-	①・備品購入費 25,613,280円 【内訳】 児童生徒用端末 576台 WiFiフィルター 28台 端末:43,120円×576台=24,837,120円 WiFiフィルター:27,720円×28台=776,160円 計25,613,280円 ・役務費 7,040,000円 1人1台端末設定料 7,040,000円 ・校内ネットワーク工事 18,612,000円 【内訳】 設計 2,552,000円 工事 14,663,000円 監理 1,397,000円 ②市内小中学校及び児童生徒	1人1台端末の地方単独分の購入を行うことで市内全児童生徒(1,730人)に端末を配備することができ、GIGAスクール構想を推進することができた。
13	家計急変学生等支援事業	教育課(旧教育総務課)	新型コロナウイルス感染症の影響により、就学の継続が危ぶまれる学生等の就学環境の維持を図る。	R2.8	R2.11	2,400	2,400	-	-	-	-	-	①100,000円×24人=2,400,000円 ②水俣市出身の大学生、専門学生等	新型コロナウイルス感染症の影響により、就学の継続が危ぶまれる学生等に対し、「水俣市学生支援緊急給付金」を給付することにより、就学環境の維持を図ることができた。
14	公共的空間安全・安心確保事業	図書館	新型コロナウイルス感染症予防のための図書消毒器等の資材を設置し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。	R2.9	R2.12	1,169	669	-	500	-	-	-	①図書消毒機 1,020,000円×1.1=1,122,000円 消臭抗菌剤 5,000円×1.1=5,500円 紫外線殺菌ランプ一式 35,000円×1.1=38,500円 消耗品送料 2,000円×1.1=2,200円 合計:1,168,200円 ②図書館利用者及び職員	図書消毒機を設置することで、利用者・職員の衛生環境の向上に寄与することができ、安心して利用できる読書環境の提供が可能となった。
15	新型コロナウイルス感染症対策農林漁業事業者支援金	農林水産課	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入が著しく減少した市内の農林漁業事業者に対し、経営環境の更なる悪化を緩和するとともに、地域を支える農林漁業者の生産意欲の向上と産地維持の継続を図る。	R2.6	R2.10	7,700	7,700	-	-	-	-	-	① ・申請件数実績 77件 ・交付単価 100,000円 ・交付額実績 100,000円×77件=7,700,000円 ②市内の第1次産業の収入を主とする農林漁業事業者	市内の第1次産業の収入を主とする農林漁業事業者の次年度への営農継続に繋がった。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
16	農産物等販売促進活動支援補助金	農林水産課	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入が大きく減少している水産物の農産物及び海産物に対し、関係団体等が取り組む各種販売促進活動にかかる経費の一部を補助を行い、販売促進を図る。	R2. 8	R3.3	6,266	6,266	-	-	-	-	-	① ■みなまた茶販売促進活動に係る補助金 5,766,000円 【内訳】 ・試供品の提供に係る経費 20g試供品あたり上限160円×25,000袋＝ 4,000,000円 ・販路拡大のための新商品開発に係る経費（粉茶） 機械補助(2/3)700,000円×2/3＝466,000円 販売促進活動経費・消耗品等 1,300,000円 ■海産物販売促進活動に係る補助金 500,000円 広告費、新型コロナウイルス感染症対策用消耗品等 ②あしきた農業協同組合、市漁協等、農産物・海産物の販促活動に取り組む関係団体	新商品の開発やイベントの開催等を実施することで、お茶や海産物の販売促進に繋がった。
17	農産物次期作支援補助金	農林水産課	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が著しく減少した水産物の農産物(サラダたまねぎ、みなまた茶)について、事業の継続及び産地の維持を図る。	R2. 8	R3.3	10,891	10,891	-	-	-	-	-	① ■種苗代支援 対象者(申請者)実績64名 種子代単価 苗種別ごとの実績額 作付実績 4,022.5a 補助率:1/2 補助実績額 5,983,000円 ※補助実績額については、補助対象者64名がそれぞれ購入した種苗代をそれぞれ補助率1/2で算定し積み上げた金額 ■茶土づくり支援 対象者(申請者)実績15名 肥料代単価 ※肥料購入実績単価 取組実績 6,765a 補助率:1/2 補助実績額 4,908,000円 ※補助実績額については、補助対象者15名がそれぞれ購入した肥料代をそれぞれ補助率1/2で算定し積み上げた金額 ② 玉ねぎ農家、茶農家等が属する団体	玉ねぎ農家やお茶農家の次年度の営農継続に繋がった。
18	泊まって応援キャンペーン事業	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、激減した観光客の誘客を促進し、内需・外需の獲得により市内宿泊施設の経営回復を図る。	R2. 7	R2. 12	52,021	52,021	-	-	-	-	-	① ・事業補助金 48,580,330円 【内訳】 宿泊料金の助成 48,118,330円 観光バス借り上げ分 462,000円 ・事業実施業務委託料 3,441,200円 (委託先:みなまた観光物産協会) ②市内の宿泊施設	市内宿泊施設への誘客を図ることで、宿泊者数の落ち込みを抑えることができた。
19	観光PRラッピングトラック運行事業	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、激減した観光客の回帰を図るため、地場企業が運行する大型トラックに観光PR。	R2. 8	R2. 10	1,595	1,595	-	-	-	-	-	①広告料(ラッピング広告施工費等) 1,100,000円 委託料(出発式等) 495,000円 ②市内観光産業	市内に本社を持つ運送業者との協力により、通常、長距離運行にあたる大型トラックへのラッピング広告の掲示により、観光関係の問合せやHPの閲覧数の増加に寄与した。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
20	飲食店支援関連 イベント開催事業	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が大幅に減少している市内飲食店における観光消費の確保を図る。	R2. 8	R2. 9	533	533	-	-	-	-	-	①補助金 補助対象経費決算額 533,000円 ②市内飲食店	市内飲食店等32店舗がのぼりを設置し、一部は新たにテイクアウト・デリバリーを実施、加えて2回の出張販売イベントにより、次年度以降も継続しており飲食店の売上の下支えを行うことができた。
21	湯の児湯の鶴応 援タクシー事業	経済観光課	宿泊客の交通の利便性を高めることで、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に甚大な影響が生じている市内観光業・タクシー業の支援を図る。	R2. 8	R3.3	1,401	1,401	-	-	-	-	-	①合計 1,400,865円 (内訳) 広告料 448,800円 印刷製本費 117,645円 委託料 431,420円 補助金 403,000円 ②湯の児・湯の鶴宿泊者	観光客の二次アクセスへの支援に繋がり、宿泊観光客の誘致にもなった。
22	「新しい生活様式」導入推進補助金	経済観光課	新型コロナウイルス感染症の拡大予防に対応した事業形態をいち早く普及させることにより、持続可能な経営を目指す市内中小企業者の経営環境の構築を支援する。	R2.8	R3.3	15,422	12,372	-	3,050	-	-	-	①補助金支出額:15,338,000円 通信運搬費:84,748円 計 15,422,748円 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施した市内中小企業等	新型コロナウイルス感染症感染防止対策の実施に係る費用を一部補助することで、「新しい生活様式」に適応した事業形態の普及が図られた。
23	飲食店応援チ ケット事業 ～ 水俣プレミアム飲 食券 ～	経済観光課	市内飲食店で使用可能な商品券を発行し、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している市内の飲食店の経済支援を図る。	R2. 7	R3.3	7,389	7,389	-	-	-	-	-	①合計 7,389,051円 (内訳) プレミアム分 5,899,500円 印刷製本費 585,420円 広告宣伝費 408,320円 販売委託料 450,000円 換金手数料 110円 通信費 12,136円 事務費 15,565円 人件費 18,000円 ②一般市民 24,000人 飲食事業者 161事業者	市内飲食店で使用可能な商品券を発行し、消費喚起を図ることで、売上が減少している事業者への経済支援に寄与した。
24	経済活性化事業 オンデマンド 「WEBセミナー」	経済観光課	「新しい生活様式」に対応した事業継続活動や物流の停滞防止に向けた施策、コロナ禍や終息後における事業活動への取り組みといった、経済回復に向けた支援を図る。	R2.10	R3.3	55	55	-	-	-	-	-	①サイト構築・広告宣伝費 55,000円 ②市内事業者	水俣商工会議所において、市内事業者を対象に、「新しい生活様式」に対応した事業活動に向けた支援が図られた。
25	光ファイバ整備に 必要な運営経費 等支援事業	総務課	新型コロナウイルス感染症への対応を進めながら、「新たな日常」に必要な情報通信基盤の整備を図る。	R3.3	R4.3	85,776	85,772	-	-	-	-	4	①実施事業者総事業費 461,615,000円 (内訳)国庫補助対象事業費 255,315,000円 (内訳)国庫補助対象外事業費 206,300,000円 【A】 (Aの内訳)実施事業者負担額 120,524,000円 (Aの内訳)市補助金額 85,776,000円 ②事業実施事業者	令和4年1月、事業対象3地域で、光インターネットサービスの提供を開始。市内全域で同等のインターネットサービスが利用できるようになり、地域間に生じていた情報格差の是正に寄与した。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
26	テレワーク環境整備事業	総務課	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、テレワーク環境の整備を図る。	R2.10	R3.3	7,349	7,349	-	-	-	-	-	①オンライン会議用・テレワーク用端末 @113,300円×35台=3,965,500円 MS office ライセンス @40,920円×35台=1,432,200円 PCキャリングバッグ @2,750円×5台=13,750円 インクジェット複合機 @33,275円×2台=66,550円 オンライン会議用大型モニタ @385,000円×1台=385,000円 モニタスタンド @38,500円×3台=115,500円 指静脈認証ユニット @15,950円×10台=159,500円 液晶ディスプレイ @27,500円×10台=275,000円 L2スイッチハブ @132,000円×1台=132,000円 基幹系端末セットアップ @412,500円×一式=412,500円 オンライン会議ツール3年ライセンス @97,790円×4ライセンス=391,160円 合計 7,348,660円	令和3年度で、約400件のオンライン会議やセミナー・説明会のオンライン開催に活用したほか、特別給付金の臨時受付窓口の設置等に利用し、現在も同等の件数規模で運用中。
27	講座等無観客配信環境整備事業	総務課	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、講座等の無観客配信環境の整備を図る。	R2.12	R3.3	720	720	-	-	-	-	-	①ノート型端末 @163,900円×2台 327,800円 背景スクリーン台 @34,760円×2台 69,520円 背景布 @11,550円×4台 46,200円 無指向性マイク内蔵カメラ @24,860円×2台 49,720円 カメラ用三脚 @25,300円×1台 スピーカー @5,060円×2台 10,120円 単一指向性マイク @18,700円×2台 37,400円 ライブ配信用ビデオキャプチャ @21,890円×1台 LED撮影灯 @51,150円×2台 102,300円 撮影灯スタンド @15,125円×2台 30,250円 合計 720,500円 ②地方公共団体	主にセミナー・説明会等の配信開催において活用。件数はNo.26記載の数に含む。
28	感染予防対策事業	総務課	公共的施設（水俣市もやい直しセンター）における感染予防対策について、物品の供与又は補助金の交付を行うことにより、予防対策の徹底と市民の衛生意識の高揚を図り、ひいては「新たな日常」の実現に資することを目的とする。	R2.9	R3.2	1,250	1,250	-	-	-	-	-	①◇感染予防用品の購入費補助（244,000円） ・デジタル体温計2,750円×10個=27,500円 ・消毒用エタノール製剤500ml詰：1,100円×40本=44,000円 ・次亜塩素酸水1ℓ詰：1,100円×40本=44,000円 ・次亜塩素酸水20ℓ詰替用19,800円×4本=79,200円 ・その他消耗品（マスク、ポリ手袋 他） 49,000円 ◇設備整備・改修費補助（1,006,000円） ・施設受付カウンターの改修工事一式 500,000円 ・換気設備（サーキュレーター） 19,800円×20台=396,000円 ・飛沫防止スクリーン 11,000円×10台=110,000円 ②水俣市振興公社、水俣市社会福祉協議会	新型コロナウイルス感染症対策の諸整備を行い、予防対策及び施設利用者が安心して利用できる環境を整えることができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
29	公共的空間安全・安心確保事業	財政課	車椅子利用者等が利用する避難所等の公共空間における感染機会の削減を図る。	R2.10	R2.12	3,850	3,850	-	-	-	-	-	①自走式階段昇降車 3,850,000円×1台=3,850,000円 （税抜き価格3,500,000円の内訳） ・本体1台 2,945,355円 ・専用ウインチ 315,574円 ・予備バッテリーパック 1式 114,754円 ・納入時操作説明指導 講習費 66,940円 ・ " 旅費・交通費 57,377円 ②市庁舎	当該昇降車の稼働により利用者及び運搬者の密が回避され、新型コロナウイルス感染症の感染予防が図られた。
30	欠番					-								
31	公共下水道事業会計操出	上下水道局	既存の上水道システム環境の拡充を行うことにより、住民・事業者・職員との接触機会を低減し、感染リスクの低減を図る。	R2.9	R3.3	9,086	9,086	-	-	-	-	-	①上下水道管路情報管理システム統合業務委託料 9,086,000円 ②上下水道局職員	システム整備により来局者と職員の接触機会・接触時間が減り、感染リスクを低減することができた。 また、局内や事業者との協議時における現地確認の効率化にもつながった。
32	子ども・子育て支援交付金	福祉課	新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休校等により、学童クラブが午前中から開所するにあたっての開所経費、職員配置等にかかる経費、利用者に日割り利用料を返還した場合等の経費を補助を行い、学童クラブ利用の保護者の負担軽減を図る。	R2.4	R3.3	7,875	2,627	2,624	2,624	-	-	-	① ア 178日分(7クラブ分)×11,000円 =1,958,000円 イ 178日分(7クラブ分)×21,000円 =3,738,000円 ウ 140日分(6クラブ分)×6,000円 =840,000円 エ 56日分(6クラブ分)×6,000円=336,000円 オ 1,003,620円(4クラブ分) ・二小ふれあい学童クラブ 419,700円 ・ふくろふれあい学童クラブ 165,680円 ・中央学童クラブ 233,440円 ・西方寺学童クラブ 184,800円 ② 市内学童クラブ(7カ所) ・一小ふれあい学童クラブ ・二小ふれあい学童クラブ ・ふくろふれあい学童クラブ ・さわらび学童クラブ ・中央学童クラブ ・西方寺学童クラブ ・学童クラブはっぴーほーむ	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による小学校の臨時休校に伴い、学童クラブを平日の午前中から開所したことで、安心して児童を預けることができ、学童クラブを利用する保護者の負担軽減に寄与した。
33	学校臨時休業対策費補助金	給食センター	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年3月の臨時休業期間の学校給食費(食材費)のキャンセル料に対して補助を行うもの。	R2.4	R3.3	709	177	532	-	-	-	-	①(1)牛乳200cc:18,256本 342,300円、(2)牛乳250cc:8,862本 207,725円、(3)パン:6,236個 159,392円 (1)~(3)合計709,417円(同左) ②水俣市学校給食センター運営委員会が業者に支払った、令和2年3月分の休校期間中にキャンセルした牛乳及びパンの違約金を対象としたもの。	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用することにより、水俣市学校給食センター運営委員会・学校給食会計(私会計)からの支出を抑制することができた(学校給食会計に係る負担軽減措置となった)。
34	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る)	教育課(旧教育総務課)	各小中学校に消毒液等を購入し、感染症対策を図る。	R2.4	R2.7	588	294	293	-	-	-	1	①・消耗品 588,828円 【内訳】 消毒液・消毒液ボトル 564,410円 ビニール袋 9,162円 ポリエチレン手袋 2,276円 マスク・フェイスシールド 6,600円 ハンドソープ 6,380円 ②各小中学校	新型コロナウイルス感染症感染拡大による一斉臨時休業からの学校再開にあたり、保健衛生用品を購入し、感染症感染拡大防止を図ることができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
35	無線システム普及支援事業費等補助金	総務課	国の補助金を活用し、民設民営方式により光ファイバー網を整備する。市内で未整備となっていた地域で高速なインターネットサービスが利用できるよう整備することで、情報格差を解消し、新しい生活様式に対応する基盤を整える。	R3.3	R4.3	255,315	100,911	85,104	-	64,600	-	4,700	①実施事業者総事業費 461,615,000円 (内訳)国庫補助対象事業費 255,315,000円 【A】 (内訳)国庫補助対象外事業費 206,300,000円 (Aの内訳)コロナ交付金 100,911,000円① (Aの内訳)国庫支出金 85,104,000円 (Aの内訳)起債(過疎債) 64,600,000円② (Aの内訳)一般財源 4,700,000円③ (Aの内訳)市補助金額 170,211,000円(①+②+③) ②事業実施事業者	令和4年1月、事業対象3地域で、光インターネットサービスの提供を開始。市内全域で同等のインターネットサービスが利用できるようになり、地域間に生じていた情報格差の是正に寄与した。
36	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)	教育課(旧教育総務課)	各小中学校の再開に伴い、各小中学校に消毒液等を追加購入し、感染症対策や夏季休業期間短縮に伴う熱中症対策を図るほか、児童生徒の学びの保障のために必要な備品の整備を図る。	R2.6	R3.3	22,412	11,051	11,051	-	-	-	310	①消耗品 3,062,068円 【内訳】 消毒液 1,139,600円 冷却ベスト 198,000円 その他消耗品 1,724,468円 備品 19,349,610円 【内訳】 非接触体温計 821,700円 教師用タブレット・電子黒板 17,522,260円 その他備品 1,005,650円 合計22,411,678円 ②各小中学校	学校再開に伴い、保健衛生用品等を購入し、感染症対策や夏季休業期間短縮に伴う熱中症対策を図ることができた。また、児童生徒の学習保障のために必要な備品の整備を図ることができた。
37	修学旅行の日程変更等に係る追加費用の支援事業	教育課(旧教育総務課)	新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行を延期した場合等に発生する追加費用を支援し、保護者負担の軽減及び安心安全な実施に向けた柔軟かつ適切な対応を図る。	R3.1	R3.3	264	131	-	131	-	-	2	①小学校1校 263,900円 【内訳】 4,550円×57人=259,350円 2,275円×2人=4,550円 (特別支援教育就学奨励費対象者2人:支給額4,550円×1/2) ②各保護者	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内の宿泊・飲食業者に補助金を支出し、雇用の継続と安定化に寄与した。
38	学校再開に伴う学習保障等に係る支援事業	教育課(旧教育総務課)	各小中学校の再開に伴い、各小中学校に消毒液等を追加購入し、感染症対策や夏季休業期間短縮に伴う熱中症対策を図るほか、児童生徒の学びの保障のために必要な備品の整備を図る。	R3.1	R3.3	4,432	4,432	-	-	-	-	-	①備品購入費 4,431,100円 【内訳】 電子黒板9台 4,431,100円 ②市内小中学校	電子黒板の購入を行うことで、集会時に一か所に参集せずに感染症対策を行いながら、児童生徒の学びを進めることができた。
39	水俣病資料館整備事業	水俣病資料館	水俣病資料館の改修工事(屋上面・展示室内壁改修)において、展示室内壁の塗装にウイルス不活化に効果のある漆喰塗料を用いることにより、公共空間における新型コロナウイルス感染症等の感染機会の削減を図る。	R3.1	R3.3	17,973	13,155	-	-	-	-	4,818	①対象面積:644㎡ 工事費総額17,973,000円のうち、 臨時交付金の交付対象経費:内壁塗装改修工事費 13,155,000円 ②水俣病資料館の来館者	水俣病資料館の改修工事(屋上面・展示室内壁改修)において、展示室内壁の塗装にウイルス不活化に効果のある漆喰塗料を用いることにより、公共空間における感染機会の削減を図ることができた。
40	感染症対策用品購入	財政課	市が管理する公共施設において新型コロナウイルス感染症対策のための備品を購入し、感染拡大を抑える。	R3.1	R3.3	377	377	-	-	-	-	-	①感染対策備品購入費 376,860円 【内訳】 サーマル・タブレット2台 330,000円 飛沫感染パーティション3台 46,860円 ②市庁舎来庁者	市庁舎来庁者の新型コロナウイルス感染症の飛沫対策防止に寄与した。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
41	公共的空間安全・安心確保事業	図書館 公民館	水俣市立公民館及び図書館の手指接触による新型コロナウイルス感染症防止のため、洗面用、手洗い用の水道使用口をセンサー式に更新し、新型コロナウイルス感染の危険性を抑える。	R3.1	R3.8	1,189	1,189	-	-	-	-	-	(図書館) ①自動水栓 65,000円×6台×1.1=429,000円 ②図書館利用者及び職員 (R3繰越分) (公民館) ①自動水栓 10台 69,100円×10台×1.1=760,100円 ②公民館利用者及び職員	洗面所の蛇口を触れずに使用できるようになり、利用者・職員の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めることができた。
42	光ファイバ整備支援事業	総務課	国の補助金を活用し、民設民営方式により光ファイバー網を整備する。市内で未整備となっていた地域で高速なインターネットサービスが利用できるよう整備することで、情報格差を解消し、新しい生活様式に対応する基盤を整える。	R3.3	R4.3	4,700	4,700	-	-	-	-	-	①実施事業者総事業費 461,615,000円 (負担金、補助及び交付金) 実施事業者総事業費 461,614,542円 (内訳) 国庫補助対象事業費 255,314,542円 【A】 (内訳) 国庫補助対象外事業費 206,300,000円 (Aの内訳) 国庫補助額 85,104,000円 (Aの内訳) 市補助金額 170,210,542円【B】 (Bの内訳) コロナ交付金(No.35) 100,910,542円 (Bの内訳) 過疎債 64,600,000円 (Bの内訳) 交付金充当額 4,700,000円 ②事業実施事業者	令和4年1月、事業対象3地域で、光インターネットサービスの提供を開始。市内全域で同等のインターネットサービスが利用できるようになり、地域間に生じていた情報格差の是正に寄与した。
43	全業種連合歳末セール事業	経済観光課	新型コロナウイルス感染症拡大防止による自粛等の影響により停滞している人やモノの動きの活性化を促し、消費喚起・購買力の底上げを図る	R2.10	R3.3	749	749	-	-	-	-	-	①749,178円 (内訳) 広報費 225,000円 印刷費 189,000円 会場費 70,000円 運営費 185,000円 雑費 80,178円 ②一般市民、参加店	消費低迷や購買力の低下に歯止めをかけ、地元での買い物を促進し、地域経済の賑わい感の創出を図り、当市地域経済の振興につながった。
44	プレミアム商品券発行事業	経済観光課	水俣市内加盟店において使用できる商品券を発行することによって、地元購買率の向上及び地域費の喚起を図り、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ売上の回復・顧客の呼び戻し並びに新規顧客の獲得につなげるため。	R2.11	R3.3	44,694	44,694	-	-	-	-	-	①44,693,842円 (内訳) プレミアム分 39,045,841円 保険料 88,051円 賃金 1,114,564円 需用費 2,727,164円 役員費 929,185円 委託料 641,452円 使用料及び賃借料 147,585円 ②一般市民、参加店	今回の商品券発行事業によって、地元購買率の向上、並びに地域内消費の喚起が図られ、売上の回復・顧客の呼び戻し、並びに新規顧客の獲得につながった。
45	森林・山村多面的機能発揮対策交付金負担金	農林水産課	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、林業者等の就業機会が減少している中、雇用の維持・雇用の確保を図るため、里山林活動を通じて林業者の支援を行う。	R2.8	R3.3	3,847	285	2,493	285	-	-	784	①森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業における市支援額分:285,000円 ②森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業に取組む団体(水俣市たけのこ産地化協議会)	倒れた竹や枯れた竹等を伐採、除去し、たけのこの生産に向けた環境が整備され、林業者の雇用の維持・確保等に繋がった。
46	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業に限る)	教育課(旧教育総務課)	学校設置者が教育活動を継続するための感染症対策等、教職員の研修支援及び児童生徒の学びの保障をするための取組を実施する場合に要する経費。	R3.3	R4.3	9,600	4,800	4,799	-	-	-	1	①補助金 9,599,732円 【内訳】 2校合計:2,399,996円 9校合計:7,199,736円 ②小中学校11校	補助金を交付することにより、教育活動を継続するための感染症対策等、教職員の研修支援及び児童生徒の学びの保障をするための取組を実施することができた。

No.	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要（目的）	事業始期	事業終期	総事業費	左の財源内訳						実施状況 ①積算根拠（対象数、単価等） ②事業の対象	効果
							交付金 充当額	国庫支 出金	県支出金	地方債	その他	一般財 源		
47	新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業	いきいき健康課	①実際に新型コロナウイルス感染症患者に診療等を行った医療機関に従事する者を対象に慰労金を支給する。 ②交付金 ③100千円×75人＝7,500千円 ※感染症等作業手当支給対象者 50千円×655人＝32,750千円 ※上記以外の医療従事者及び職員 ④水俣市内唯一の新型コロナウイルス指定医療機関である水俣市立総合医療センターの医療従事者及び職員	R3.3	R4.3	38,100	38,100	-	-	-	-	-	① 感染症等作業手当支給対象者 100,000円×75人＝7,500,000円 上記以外の医療従事者及び職員 50,000円×612人＝30,600,000円 ②水俣市内唯一の新型コロナウイルス指定医療機関である水俣市立総合医療センターの医療従事者及び職員	新型コロナウイルス指定医療機関で感染者対応に従事した医師、職員を慰労することができた。